



KYOTO KIMONO YUZEN
HOLDINGS

決算補足説明資料

2025年3月期 第2四半期

株式会社京都きもの友禅ホールディングス

2024年11月14日

目次

- 2025年3月期 上半期業績概要
- 2025年3月期 通期見通し
- 今後の見通し

2025年3月期 上半期業績概要

①第2四半期決算サマリー

- **売上高、営業利益は前年同期比で減収減益**

販売プロセス見直し等取り組んだものの、1Qの落ち込みをカバーできず売上高が減少。2024年3期中より取り組んでいる全社的なコスト削減の効果は一部発現したものの、売上の減少を受け減益となった。

- **財務基盤の強化と収益力改善のため、資金調達を実施**

期初に策定した重点施策を実行するため、新株予約権発行による資金調達を実施。財務基盤の強化と、和装事業の改革による収益力改善に取り組む。

- **来期の黒字化を見据え、新たに社内改善プロジェクトを始動**

振袖、一般呉服、コスト管理のセクションに分け、下半期より各プロジェクト運用を開始。各アクションプランの実行及び効果発現により、26/3期以降の黒字化を計画。



②第2四半期決算の概況

売上高
2,678百万円

前年同期実績(増減率)

3,672百万円(△27.1%)

営業利益
△391百万円

前年同期実績(増減額)

△264百万円(△127百万円)

振袖

来店者数が減少し受注高は前年比△16.1%。一方、ママ振袖のニーズに応えた商品構成、キャンペーン企画などが奏功し小物購入単価はアップしたことなどにより、当初計画対比では想定通りに推移。

二尺袖・袴

WEBカタログ及び既存商品価格の見直しにより、二尺袖・袴レンタルの受注高は前年比+29.6%。

一般呉服・宝飾等

店外催事を縮小し催事形態の見直しを進めているものの、新たな運用が軌道に乗らず受注高は前年比△17.9%。
一方、お客様への納品方法を見直したことにより受注残高は増加しており、増加分は期末にかけて売上計上予定。

写真スタジオ

商品の単価アップや和装店舗からの送客数の増加により好調に推移し、売上高は前年比+70.3%と大幅増。

オンラインストア

夏商材の浴衣や小物類の売上が伸び、販売機会損失回避のための在庫拡充により、売上高は前年比+20.4%。

粗利益率

仕入プロセスの見直しにより和装商品の粗利益率は前年比で0.7pt改善。

一方、前期末の商品評価損に係る見直し実施に伴い、棚卸資産評価損が前年比で49百万円増加しており、粗利益率は連結ベースで前年比で1.7pt低下。

広告・販促費

振袖については、広告施策の抜本の見直しにより紙媒体のダイレクトメールを縮小、WEB・SNSのデジタルマーケティングを中心に費用投下。

また、一般呉服・宝飾の催事経費についても、催事運用の見直しにより前年比で大きく減少し、広告・販促費総額では前年比△194百万円(△43.7%)。

人件費

一部事業の縮小と店舗戦略の見直し(前期末比で和装店舗4店舗閉店)、及び社員1人1人の生産性向上や新規採用の抑制により、期中平均人員数が減少し、人件費総額は前年比△232百万円。



③損益計算書(連結)

(単位:百万円、%)	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		対前年同期	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,672	100.0	2,678	100.0	△994	△27.1
売上総利益	2,212	60.2	1,567	58.5	△645	△29.2
販管費	2,476	67.4	1,958	73.1	△518	△20.9
営業利益	△264	△7.2	△391	△14.6	△127	—
経常利益	△274	△7.5	△401	△15.0	△127	—
当期純利益	△283	△7.7	△410	△15.3	△127	—

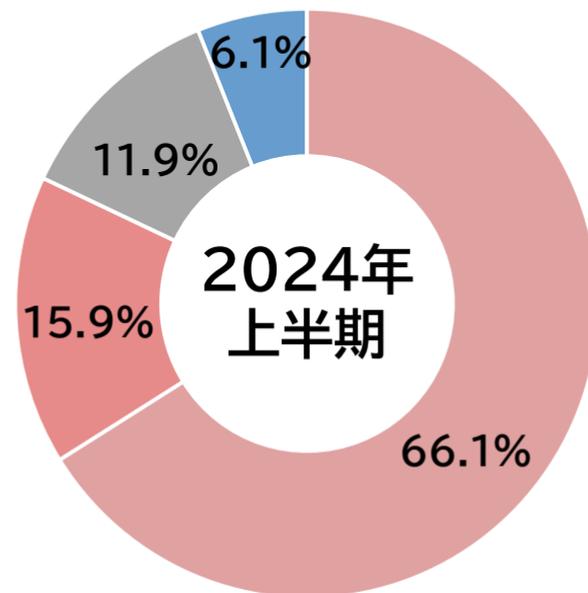
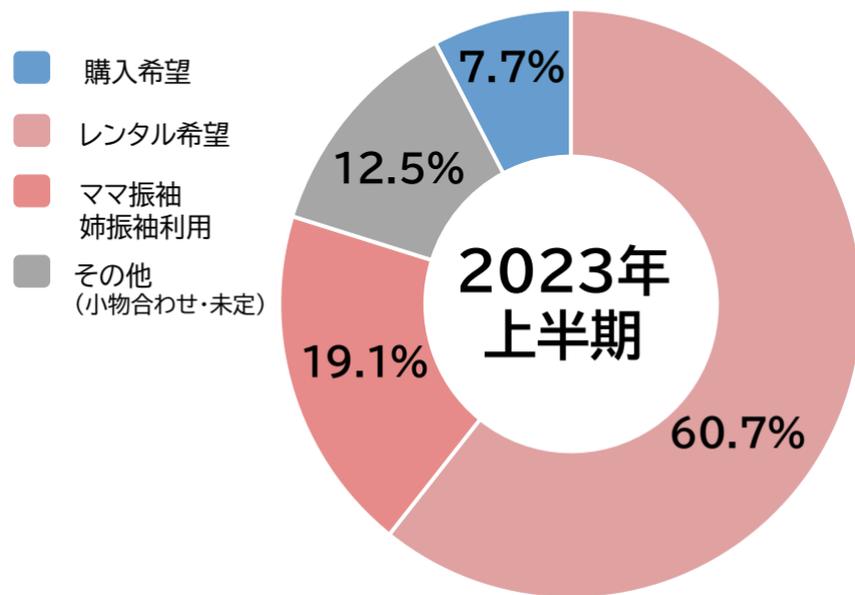
④振袖-受注状況

- 紙媒体のダイレクトメールを縮小し、WEB・SNSのデジタルマーケティングを中心にするなど従来の振袖広告を抜本的に見直し。しかしながら、広告効果の発現には一定の時間を要することから、当第2四半期の来店者数は前年比△15.0%となり、振袖全体の受注高は減少した。
- 一方、ママ振袖ニーズへの対応が奏功し、主に販売において平均単価が上昇し、当初計画対比では想定通り推移。

		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	対前年同期 増減率
来店者数		4,356人	3,702人	△15.0%
受注件数		4,341件	3,234件	△25.5%
受注高		748百万円	628百万円	△16.1%
販売	受注件数	1,340件	962件	△28.2%
	平均単価	324千円	336千円	+3.7%
レンタル	受注件数	1,198件	1,224件	+2.2%
	平均単価	191千円	189千円	△1.4%
関連小物	受注件数	1,803件	1,048件	△41.9%
	平均単価	46千円	69千円	+48.9%

⑤振袖-トレンド

- ・ 振袖は引続きレンタル・ママ振袖のニーズが大きい。
- ・ 帯、小物などの充実化、レンタル商品・プランの見直しを実施。



⑥一般呉服・宝飾-受注状況

- ・ 収益性改善のため、これまで開催してきた店外催事を縮小し、店内催事中心にシフト。店舗単位での利益獲得を計画。
- ・ しかし、上半期においては新たな催事運用が軌道に乗らず、受注高は当第2四半期累計で前年比△17.9%となった。

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	対前年同期 増減率
来店者数	32,105人	31,187人	△2.9%
成約率	27.3%	23.6%	△3.7pt
平均単価	298千円	291千円	△2.4%
受注高	2,615百万円	2,146百万円	△17.9%

⑦友の会の状況

- ・ 振袖受注件数の減少および和装店舗4店舗の閉店により、会員数は前年比で減少。
- ・ 新規会員数の獲得と、積立残高の利用促進が課題であり、今後の重点施策として取り組む。

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	対前年同期 増減数
会員数	63,110人	60,600人	△2,510人
会員による受注高	488百万円	427百万円	△60百万円
一般呉服等の受注全体 に占める割合	17.9%	18.9%	+1.0pt
積立残高総額(注)	2,795百万円	2,625百万円	△170百万円

(注) 友の会会員積立残高のうち、連絡不能等の長期未使用預り金については収益に振り替えておりますが、上記表では積立残高に含んでおります。



⑧貸借対照表(連結)

(単位:百万円)	2024年3月末	2024年9月末	対前年 増減額
流動資産 (うち現金及び預金)	6,778 (2,477)	5,967 (2,050)	△812 (△428)
有形固定資産	0	5	5
無形固定資産	0	0	0
投資のその他の資産	2,136	2,094	△42
固定資産	2,136	2,100	△36
資産合計	8,914	8,067	△848
負債	6,204	5,743	△461
株主資本	2,710	2,322	△388
純資産	2,710	2,323	△386
負債純資産合計	8,914	8,067	△848

【資産】

・商品及び製品	△17M
・売掛金	△287M
・敷金及び保証金	△39M
・前払費用	△42M

【負債】

・買掛金	+44M
・前受金	+219M
・短期借入金	△300M
・前受収益	△68M
・預り金	△127M

【純資産】

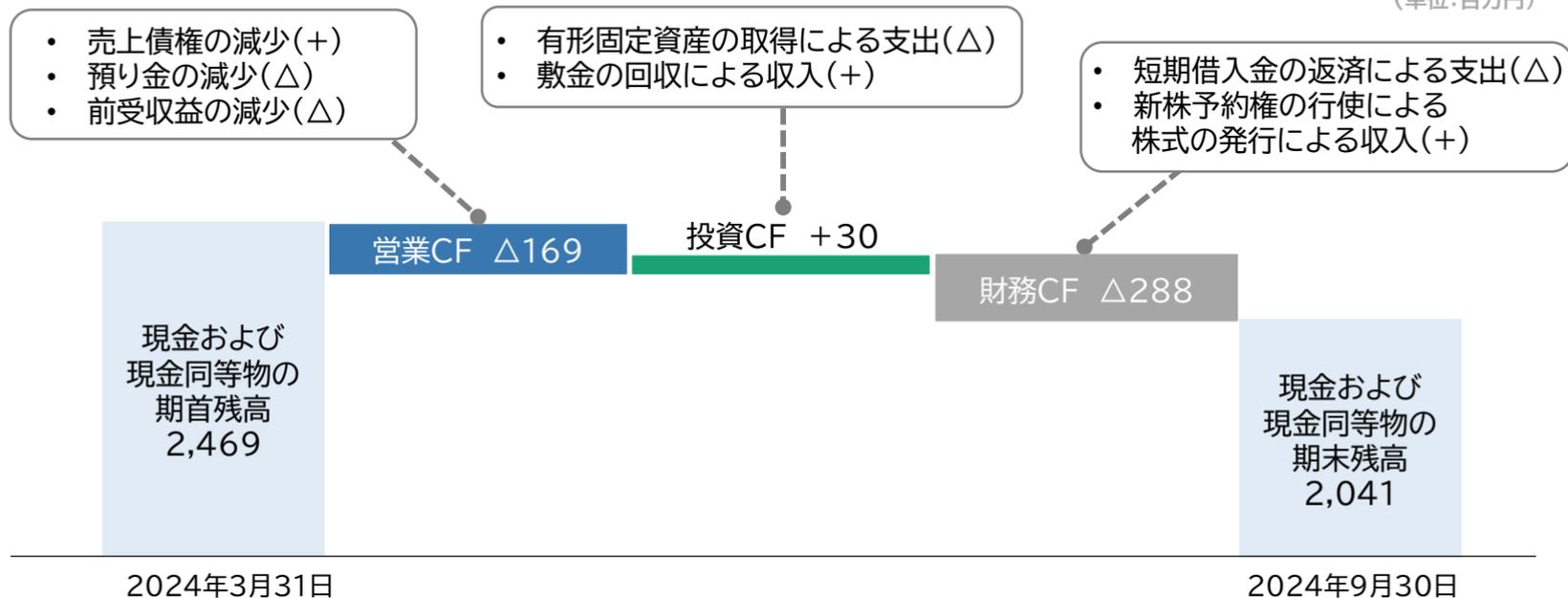
・資本金、資本準備金	+22M
・利益剰余金	△410M

※自己資本比率 28.8%
(2024年3月末30.4%)

⑨連結CF計算書

- ・仕入計画や配当施策の見直しにより一時的にキャッシュアウトを抑制し、黒字化へ向けた重要施策へ資金投入。
- ・新株予約権の発行により資本を増強し、財務健全性確保を図る。

(単位:百万円)



- ・ 売上債権の減少(+)
- ・ 預り金の減少(Δ)
- ・ 前受収益の減少(Δ)

- ・ 有形固定資産の取得による支出(Δ)
- ・ 敷金の回収による収入(+)

- ・ 短期借入金の返済による支出(Δ)
- ・ 新株予約権の行使による株式の発行による収入(+)

⑩その他トピックス

商号変更（2024年8月1日～）

グループの一体感の醸成及び原点に立ち返る意味を含め、ホールディングスの商号を変更。

新商号 株式会社 京都きもの友禅ホールディングス
(英文:KYOTO KIMONO YUZEN HOLDINGS Co.,Ltd.)

新ロゴ



The logo features a stylized red and white bird-like shape on the left, with a blue wave-like base. To the right, the text 'KYOTO KIMONO YUZEN' is written in a large, grey, sans-serif font, with a red circle containing a white 'O' over the 'O' in 'KYOTO'. Below this, the word 'HOLDINGS' is written in a smaller, grey, spaced-out sans-serif font.

ロゴのコンセプト

- 「京都きもの友禅」という社名から感じ取られる柔らかさ・安心感を表現。
- 初代ロゴカラーをベースに伝統を感じることができる「鴨跖草色(つゆくさいろ)」、「薄紅」を使用。
- 1つ目の「O(オー)」は着物の衿元を表現し、呉服店らしさを表現。

⑪その他トピックス

第三者割当による新株予約権の発行(行使価額修正条項付)

2024年8月13日開催の取締役会において、第三者割当の方法による第4回新株予約権の発行について決議。

目的

- ・ 2025年3月期の重点施策を着実に実施していくため、速やかに自己資本を拡充し財務基盤を強化。
- ・ 当社グループの事業の根幹を成す和装事業の改革・推進のために必要な資金を確実に確保し、企業価値の向上を図る。

新株予約権の概要

株式数	普通株式 2,800,000株
行使期間	2024年8月30日～2027年8月29日

行使状況(2024年11月12日時点)

権利行使された新株予約権の数及び発行総数に対する行使比率	24,298個(発行総数の86.8%)
交付株式数	2,429,800株
資金調達額	165百万円

2025年3月期 通期見通し

①通期計画-損益計算書(連結)

(単位:百万円、%)	2024年3月期 通期 実績		2025年3月期 通期 計画		2024年9月時点 対通期計画 進捗率	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	進捗率
売上高	7,022	100.0	5,655	100.0	2,678	47.4
売上総利益	3,723	53.0	3,556	62.9	1,567	44.1
販管費	4,763	67.8	3,849	68.1	1,958	50.9
営業利益	△1,039	△14.8	△292	△5.2	△391	—
経常利益	△1,055	△15.0	△308	△5.5	△401	—
当期純利益	△1,342	△19.1	△380	△6.5	△410	—

・当第2四半期において、業績予想の修正はございません。

①通期計画-受注

(単位:百万円、%)	2024年3月期 通期 実績		2025年3月期 通期 計画		2024年9月時点 対通期計画 進捗率	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	進捗率
振袖	1,601	23.9	1,108	20.1	628	56.7
二尺袖・袴	83	1.2	90	1.6	57	63.8
一般呉服・宝飾	4,640	69.3	4,124	74.7	2,190	53.1
写真スタジオ ・オンラインストア	369	5.5	195	3.5	190	97.0
合計	6,693	100.0	5,518	100.0	3,065	55.6

・当第2四半期において、業績予想の修正はございません。

今後の見通し

①業績予想

2025年3月期は収益性改善のための再生フェーズと位置づけ、新たなプロジェクトを始動。下期以降に改善施策の効果発現を見込んでおり、翌期以降、3期ぶりの黒字化を計画。

(単位:百万円、%)	2025年3月期 業績予想		2026年3月期 計画		2027年3月期 計画	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	5,655	81%	5,909	104%	5,909	100%
営業利益	△292	—	66	—	94	141%

- ・ 2027年3月期の計画値は、2026年3月期と同程度の売上規模を維持することが前提。
- ・ プロジェクト推進による収益性改善の進捗しだいで、順次トップラインの引き上げについても検討。

②取り組みの概要(振袖)

目的

- 緻密かつ多角的なマーケティング戦略と広告効果の最大化によりお客様来場数を伸長



店舗マーケティング戦略

お客様の動向、ニーズを鑑み、各店舗ごとの地域に根ざしたオフラインマーケティング施策を実施し、新規来店者数増加を企図。



本部マーケティング戦略

DMを中心とした広告施策からWEB・SNSを中心としたデジタルマーケティング施策にシフト。メディアミックスの最適化及び広告宣伝費投資効果を最大化

③取り組みの概要(一般呉服・宝飾)

目的

- 各催事の収益性を重視し、利益率を向上
- お客様との継続した関係性構築のため、各種コンプライアンス体制を整備



収益性管理

収益性に影響する項目を抜本的に見直し。
各店で利益が出せる体質へ。



お客様管理体制

お客様との継続的な関係を醸成すべく、組織的な顧客引継ぎ及び顧客アプローチ方法の体系化を行い、販売力を強化。



新規顧客育成

着物の利用を促す場を提供することで新規顧客を育成。
副次的に既存顧客との関係性も強化。



販売管理体制

社内における販売ガイドラインを作成し、販売コンプライアンス研修を定期的
に実施。本社直轄によるガイドラインの運用により、ステークホルダーの皆様
が継続的に安心できる販売環境を整備。

④取り組みの概要(生産性向上・コスト管理)

目的

- 適正なコストコントロール、コスト削減を実施し利益確保
- 社員1人1人の生産性向上を実現



コスト削減及び社内コスト意識の醸成

- ・社内オペレーション、社内決裁運用等の見直し。
- ・社内に委員会を設置し、コスト削減と社内コスト意識醸成に取り組む。



店舗開発・運営管理

- ・店舗の閉店・減床、賃料の見直しを前期末～今期末にかけて実施。
- ・店舗固定費の圧縮により各店の収益性を改善。



人員配置の最適化

- ・近年、人件費率が上昇傾向にあることから各店、本社における生産性の高い人員配置・働き方の見直しを実施し、人件費を圧縮。

会社概要

代表者	浅香 竜也
設立	1971年8月5日
所在地	(本社)東京都中央区日本橋大伝馬町14-1住友生命日本橋大伝馬町ビル
事業内容	振袖を中心とした呉服・宝飾等の販売
資本金	111百万円(2024年9月末現在)
従業員数	433名(2024年9月末現在※嘱託・パートを含む)
店舗数	友禅42店舗 写真スタジオ4店舗(2024年9月末現在)
関連会社	(連結子会社)京都きもの友禅株式会社、株式会社京都きもの友禅友の会

問い合わせ先

経営管理部

URL:<https://www.kyotokimonoyuzenholdings.co.jp/>

E-mail:kky_ir@kkyuzen.jp

注意事項

本資料に記載されている将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの見通しは様々なリスク及び不確定要因を含んでおり、実際の業績は異なる結果となる可能性がございます。